

はたらく障害者応援プレミアム商品券発行事業委託に関する 質問および回答

	質 問	回 答
1	仕様書4-③より、過去の実績として仕様書記載のa, b以外で行った販売事例等はあるか。	過去、県が認める授産商品販売会として、「国民文化祭・なら2017」「全国障害者芸術・文化祭なら大会」等のイベント会場において販売した事例があります。
2	仕様書4-⑥より、商品券にかかわるコールセンターについて想定されている開設期間(休業日)・時間(休憩時間)・デスク数・スタッフ数を教えていただきたい。過去のコールセンターではどれくらいの件数が1日平均でかかってきたかを教えていただきたい。	コールセンターの開設期間については、令和4年9月中旬から令和5年2月22日を想定しています。その他、休業日・時間(休憩時間)・デスク数・スタッフ数等について、県からの指定はありません。 コールセンターでの対応件数については、平成27年度の事業実施時には合計1,115件、販売・利用期間(平成27年5月23日～平成28年2月7日)における1日平均約5件でした。
3	今回予定している利用対象施設数を教えていただきたい。	平成27年度～平成29年度の事業実施時に参加申し込みのあった利用対象施設数は以下のとおりですので、参考にしてください。 平成27年度 94件 平成28年度 85件 平成29年度 99件
4	授産商品販売会での必要備品(机等)、会場費は貴県で準備いただけるのか。	「はたらく障害者応援フェア」および「農福連携マルシェ」については、販売会場から机等の備品を借り受けることができますので、同事業の受託者と協議のうえ対応してください。 「県庁販売会」については、県で机等の備品を準備します。 また、県が実施する授産商品販売会において、会場費を負担いただくことはありません。
5	広報用のポスター、チラシの想定枚数を教えていただきたい。	上記回答3の利用対象施設数を参考にして、必要枚数を見込んでください。
6	コールセンターの営業日時については、こちらからの提案という認識でよろしいか。	コールセンターの開設期間については、令和4年9月中旬から令和5年2月22日を想定しています。その他の内容についてはご提案願います。